

統計作状況野菜生産出荷統計の出荷量の値（2011年）を用いた。データはできる限り行政栄養士調査の時期と同じ時期の公表値を用いた。なお、行政栄養士調査データの使用については、厚生労働省からの許可を得て国立保健医療科学院において解析作業を行った。

6) 解析は、上記の全項目について単相関分析を行った。

### C. 研究結果

1. 平成19年から24年までの都道府県別管理栄養士数の時系列変化について、都道府県、特別区、保健所設置市、市町村毎にみた結果、都道府県、特別区はほぼ横ばいまたは減少傾向にあったが、保健所設置市、市町村では管理栄養士数は増加していた。都道府県別管理栄養士総数の時系列変化では、都道府県により人数および増加に違いがあった。

2. 管理栄養士の業務と関連が深いと考えられる肥満者の割合、野菜摂取量、食塩摂取量のうち、野菜摂取量と管理栄養士数との相関係数が男性0.96、女性0.97と非常に高かった。野菜摂取量に管理栄養士数が関連する可能性がある。

### D. 考察

今後、行政栄養士と野菜摂取量に交絡すると考えられる変数を調整して検討す

る必要がある。また、野菜摂取に関係する栄養素との関連を検討する必要がある。さらに、食品群別摂取量、栄養素摂取量についてはエネルギー摂取量で調整する必要がある。

### E. 結論

都道府県別の管理栄養士総数と野菜摂取量とに高い相関がある可能性が示唆された。

### F. 参考文献

- 1) 健康日本21評価作業チーム. 健康日本21最終評価, 2011
- 2) 厚生労働省. 健康日本21(第二次)国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針, 厚生労働省告示第四百三十号, 2012
- 3) 厚生労働省. 平成22年国民健康・栄養調査報告, pp.193-196, 2012

### G. 研究発表

なし

### H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

なし

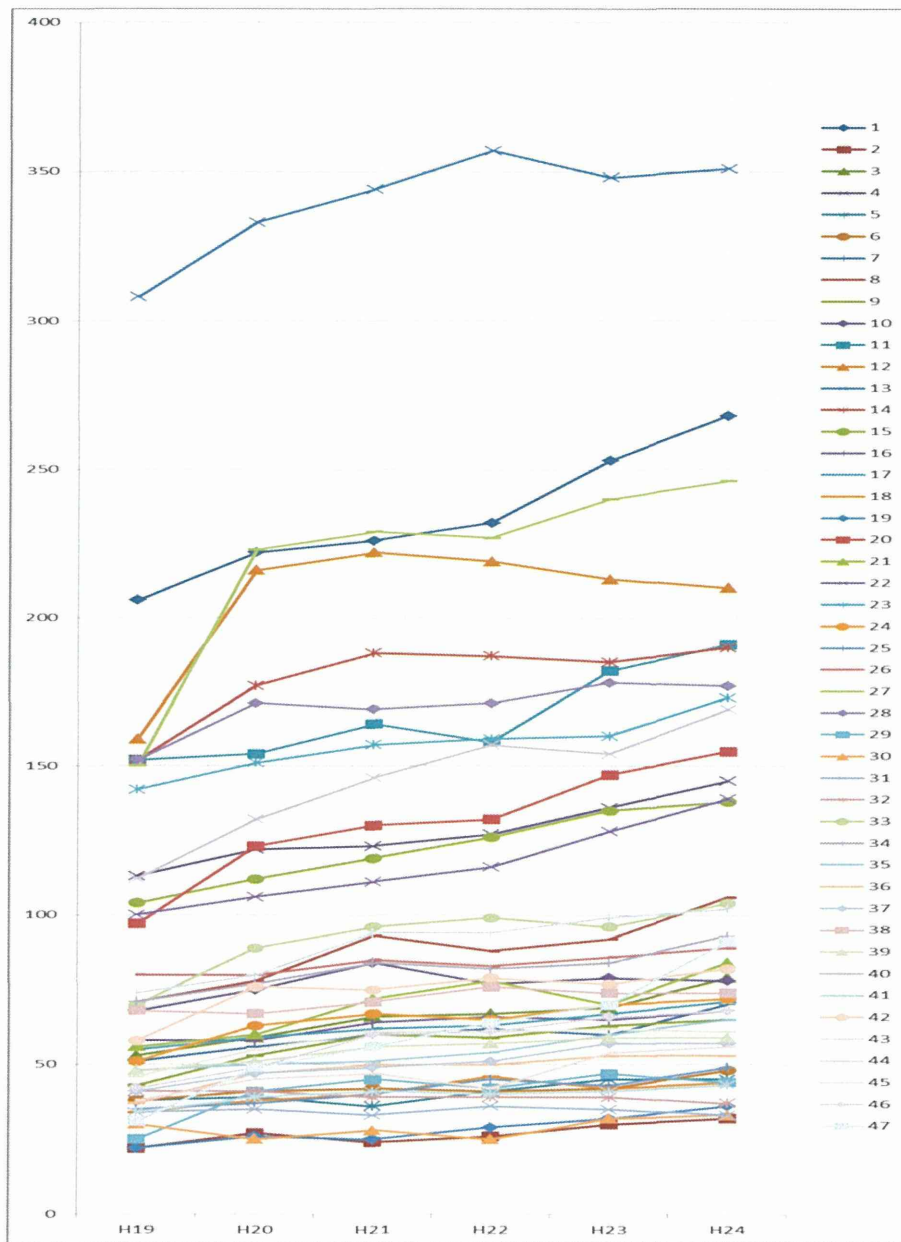


図1. 都道府県別行政管理栄養士総数の時系列変化

—数値：都道府県

人数：都道府県、市町村、保健所設置市、特別区の管理栄養士（同等含む）数を合計した値

表1. 用いたデータの統計報告一覧

データ	統計報告名	年	コード番号
平均余命 (0歳)	総務省統計局健康・医療 平均余命	2010年	男H101 女H102
老年人口割合 (65歳以上人口)	総務省統計局健康・医療 基礎データ	2010年	#A03103=老年人口 (65歳以上人口)A1303/ 人口総数A1101
1人あたり国民医療費	総務省統計局福祉・社会保障医療保険	2008年	J4004
1人あたり県民所得	総務省統計局経済基盤	2008年	C120101
都道府県別保健所数	全国保健所長会ホームページ	2012年	
都道府県別市町村数	財団法人地方自治情報センター	2012年	
都道府県、政令市 特別区管理栄養士割合、市町村管理栄養士人数	厚生労働省行政栄養士調査	2007~2010年	
野菜出荷量	農林水産省作物統計作状況野菜生産出荷統計	2011年	
保健師、医師、歯科医師、看護師	地域保健 健康増進事業報告 地域保健 老人保健事業報告)	2010年	

表2. 都道府県肥満者の割合、野菜摂取量、食塩摂取量、喫煙習慣者の割合、歩数と都道府県別管理栄養士数の関連

	管理栄養士数 同等含む)	人口10万人あたり 栄養士数 同等含む)	行政保健師数	平均余命 (0歳)	老年人口割合 (65歳以上人口)	1人あたり国民医療費	1人あたり県民所得	都道府県別保健所数	都道府県別市町村数	総数における管理栄養 士の割合	政令市における管理栄養 士の割合	市町村における管理栄養 士の割合	野菜摂取量 (男性)	野菜摂取量 (女性)	人歩出荷量	レス出荷量	きゅうり出荷量
肥満者の割合 (男性)	-0.08403 0.5744	0.08783 0.5571	-0.05612 0.7079	-0.47801 0.0007	-0.04836 0.7469	-0.05725 0.7023	-0.40899 0.0043	0.03647 0.8077	0.21738 0.1422	0.02089 0.8892	-0.07173 0.6318	0.06837 0.6480	-0.20182 0.1737				
野菜摂取量 (男性)	0.96907 <0.001	0.12138 0.4163	-0.07344 0.6237	0.20467 0.1676	0.19040 0.1999	-0.17707 0.2338	0.02311 0.8774	-0.14142 0.3430	0.00511 0.9728	-0.07694 0.6072	-0.20637 0.1640	0.28256 0.0543	0.91078 <0.001	-0.28773 0.0499	0.34596 0.0172	0.22638 0.1260	
野菜摂取量 (女性)	0.97486 <0.001	0.15753 0.2903	0.00578 0.9692	0.09917 0.5072	0.15859 0.3189	-0.10752 0.4719	0.06412 0.6685	-0.06454 0.6665	0.03650 0.8075	-0.03508 0.8149	-0.25335 0.0857	0.30939 0.0343	-0.15753 0.2903	0.31964 0.0285	0.23795 0.1073		
食塩摂取量 (男性)	0.69574 <0.001	-0.08638 0.5637	-0.07309 0.6254	-0.08658 0.5628	0.22104 0.1354	-0.13225 0.3755	0.14396 0.3343	-0.11170 0.4548	0.00279 0.9851	0.14802 0.3207	-0.18811 0.2054	0.12056 0.4195	0.69871 <0.001	0.73293 <0.001			
食塩摂取量 (女性)	0.67322 <0.001	-0.08059 0.5902	0.00534 0.9716	-0.28077 0.0559	0.13245 0.3748	-0.06130 0.6823	0.18537 0.2122	-0.02921 0.8455	0.06363 0.6709	0.06944 0.6428	-0.18499 0.2132	0.16636 0.2637	0.68956 <0.001	0.70531 <0.001			
喫煙習慣者の割合 (男性)	-0.07516 0.6156	-0.00034 0.9982	-0.17028 0.2525	-0.61788 <0.001	0.25640 0.0819	-0.18374 0.2164	-0.23511 0.1117	-0.10176 0.4961	0.09079 0.5439	0.36862 0.0108	-0.15962 0.2838	-0.05029 0.7371	-0.07802 0.6022				
飲酒習慣者の割合 (男性)	0.19961 0.1786	0.08207 0.5834	-0.13151 0.3782	-0.46459 0.0010	0.37615 0.0092	-0.08982 0.5483	-0.25199 0.0875	-0.07478 0.6174	-0.13004 0.3836	0.02429 0.8713	-0.08161 0.5855	0.07753 0.6045	0.17875 0.2293				
歩数 (男性)	0.26026 0.0773	0.00680 0.9638	-0.07159 0.6325	-0.20394 0.1691	0.28245 0.0544	0.08078 0.5893	-0.15833 0.2878	-0.12757 0.3928	-0.05717 0.7027	-0.13857 0.3530	-0.07297 0.6259	-0.09016 0.5467	0.22544 0.1276				
歩数 (女性)	-0.04898 0.7437	-0.37638 0.0091	0.47228 0.0008	0.56131 <0.001	-0.54098 <0.001	0.50397 0.0003	0.54304 <0.001	0.33572 0.0211	0.16440 0.2695	-0.50048 0.0003	0.45056 0.0015	-0.19634 0.1859	-0.07076 0.6365				
	-0.05519 0.7125	-0.38468 0.0076	0.48567 0.0005	0.54233 <0.001	-0.54961 <0.001	0.50224 0.0003	0.57082 <0.001	0.31994 0.0284	0.24685 0.0944	-0.49196 0.0004	0.36910 0.0107	-0.11976 0.4227	-0.06218 0.6780				
	-0.06739 0.6527	-0.24130 0.1023	0.49390 0.0004	-0.00784 0.9583	-0.43016 0.0025	0.54927 <0.001	0.50290 0.0003	0.42275 0.0031	0.15328 0.3036	-0.46137 0.0011	0.50751 0.0003	-0.28602 0.0513	-0.01890 0.8996				
	-0.00561 0.9702	-0.30813 0.0351	0.47196 0.0008	-0.07406 0.6208	-0.43589 0.0022	0.50471 <0.001	0.48459 0.0006	0.43437 0.0023	0.35322 0.0149	-0.47116 0.0008	0.34124 0.0189	-0.08613 0.5648	-0.04421 0.7679				

数値: 上の段はpeason p-score、下の段はspearman p-score

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）

分担研究報告書

地域活動分野管理栄養士の現状把握と課題

研究分担者 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 教授 酒井 徹

京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 助教 小林 ゆき子

研究協力者 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授 木戸 康博

研究要旨

管理栄養士の職域は多種多様である。一方、ひとつの職域に限定せず、多岐に渡り専門業務にあたる管理栄養士も存在する。本研究では、この分野で就労する管理栄養士の現状把握、そしてその課題について明らかにすることを目的とした。日本栄養士会「職域別会員数」を資料として用い、2000年から2011年までの12年間の全会員数、および地域活動分野に属する会員数を管理栄養士および栄養士ごとに抽出し、解析に用いた。地域活動分野で就労する管理栄養士・栄養士数は、栄養士法が改正された2000年からの12年間は約10,000名を推移しているが、管理栄養士免許保有者は1,500名強増加した。本分野では開業者やフリーランスで専門業務に当たるものが多いことから、国家資格である管理栄養士取得の方が仕事の受注に有利であることが予想されたが、管理栄養士資格保有による業務獲得のメリットの有無については引き続き具体的な調査が必要である。本分野には社会的需要に答えうる潜在的な人材が多く存在すると考えられ、人材を有効に利用できる具体的なシステム構築が望まれる。

A. 研究目的

平成12年に栄養士法は改正され、平成14年より新カリキュラムによる管理栄養士の養成が開始された。管理栄養士・栄養士の職域は、主に病院、福祉施設、学校、勤労者支援、行政、研究教育機関などが挙げられ、数多くの機関・施設で活躍している。一方、ひとつの職域に限定

せず、多岐に渡り活動している管理栄養士も存在する。例えば、地域における栄養相談、医療・介護の場での栄養管理、一次予防のための健康づくり支援、調理技術教育、スポーツ選手への栄養支援、食品開発など、対象者と直接接する現場で専門業務に当たっている。その多くは開業もしくはフリーランスで活動してい

るが、実態はこれまで把握されていない。本研究では、この分野で就労する管理栄養士の現状把握、そしてその課題について明らかにすることを目的とした。

## B. 研究方法

日本栄養士会「職域別会員数」を資料として用い、2000年から2011年までの12年間の全会員数、および地域活動分野に所属する会員数を管理栄養士および栄養士毎に抽出し、解析に用いた。2000年は平成12年にあたり、本データは栄養士法の改正後のデータである。

## C. 研究結果

日本栄養士会会員数は2000年に55,211名であり、その後2008年までほぼ横ばいまたはやや増加傾向であった。2008年57,893名をピークに会員数は減少しつづけており、2011年は52,049名であった。一方、地域活動分野に所属する日本栄養士会会員は、総数は2000年では9,718名であり、全体の16.6%占めていた。これは職域別としては病院分野、福祉分野に次ぐ3番目に多い会員数であった。その後、10,000名前後を推移するが、2008年に10,088名をピークに会員数は減少し、2011年は8,452名であった。(図1)

次に、地域活動分野に所属する管理栄養士および栄養士数の推移について検討した。2000年の管理栄養士数は5,044名、栄養士数は4,674名であり、地域活動分

野全体数に対し管理栄養士は51.9%、栄養士は48.1%とほぼ半数ずつであった。その後、管理栄養士数は増加傾向を示し、2008年には6,718名であったが、2011年には5,974名とやや減少した。栄養士数は2000年の4,674名をピークに減少が続き、2011年には2,478名であった。地域活動分野全体数に対する2011年の管理栄養士数の比率は70.7%、栄養士は29.3%であった。(図2)

## D. 考察

地域活動分野で就労する管理栄養士の現状を把握するため、本研究では日本栄養士会の職域別会員数のデータを用いることによって解析を行った。この分野に属する管理栄養士・栄養士は、機関や施設に所属せずに開業やフリーランスで専門業務に当たっている場合が多いため、その情報源として、唯一の職能団体である日本栄養士会が大きな役割を果たしていると推察される。本分野で活動する管理栄養士・栄養士の全数把握は難しいと思われるが、多くが日本栄養士会の研修などを利用していることが予想されることから、本研究で日本栄養士会会員数データを用いたことで、ある程度の現状が把握できたと考えられる。

日本栄養士会会員のうち、地域活動分野に就労する管理栄養士・栄養士数は、2000～2011年の12年間では10,000名を推移し、大きな増減は示されていない。栄養士法が改正された2000年以降、

本分野の会員数は全体の約 16%を推移し、病院分野、福祉分野に次ぐ 3 番目に会員数が多い職域であった。本分野の会員数は変動が小さいにもかかわらず、栄養士法改正時の 2000 年には管理栄養士と栄養士の割合がおおよそ 1:1 であったのに対し、12 年後の 2011 年ではその割合がおおよそ 7:3 であり、所有免許による人数構成比に変化が認められた。この理由として、日本栄養士会会員全体においても 2011 年の管理栄養士と栄養士の割合が 7.7:2.3 であることが大きい。それに加え、本分野では開業者やフリーランスで活動するものが多いことから、国家資格である管理栄養士取得の方が仕事の受注には有利であるために、管理栄養士資格保有者の会員数の増大に寄与したと推察された。しかしながら、本データのみでは直接的な要因については明確に示すことができず、管理栄養士という国家資格を有することでの業務獲得に対するメリットの有無について、アンケート調査等にて引き続き調査すべきである。特に、管理栄養士は女性が多く、家庭での仕事を優先しながら非正規雇用者として幅広い分野で専門業務に当たる場合が多く見受けられる。本分野には、管理栄養士の社会的需要に答えうる潜在的な人材が多数存在すると考えられ、人材育成につい

てどのようなことが求められているのかなどを調査し、人材育成システムの整備等、人材を有効に利用できる具体的なシステム構築が望まれる。

#### E. 結論

地域活動分野で就労する管理栄養士・栄養士数は、栄養士法が改正された 2000 年からの 12 年間は約 10,000 名を推移しているが、管理栄養士免許保有者は 1,500 名強増加した。本分野では開業者やフリーランスで専門業務に当たるものが多いことから、国家資格である管理栄養士取得の方が仕事の受注に有利であることが予想されたが、管理栄養士資格保有による業務獲得のメリットの有無については引き続き具体的な調査が必要である。本分野には社会的需要に答えうる潜在的な人材が多く存在すると考えられ、人材を有効に利用できる具体的なシステム構築が望まれる。

#### F. 研究発表

なし

#### G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

なし

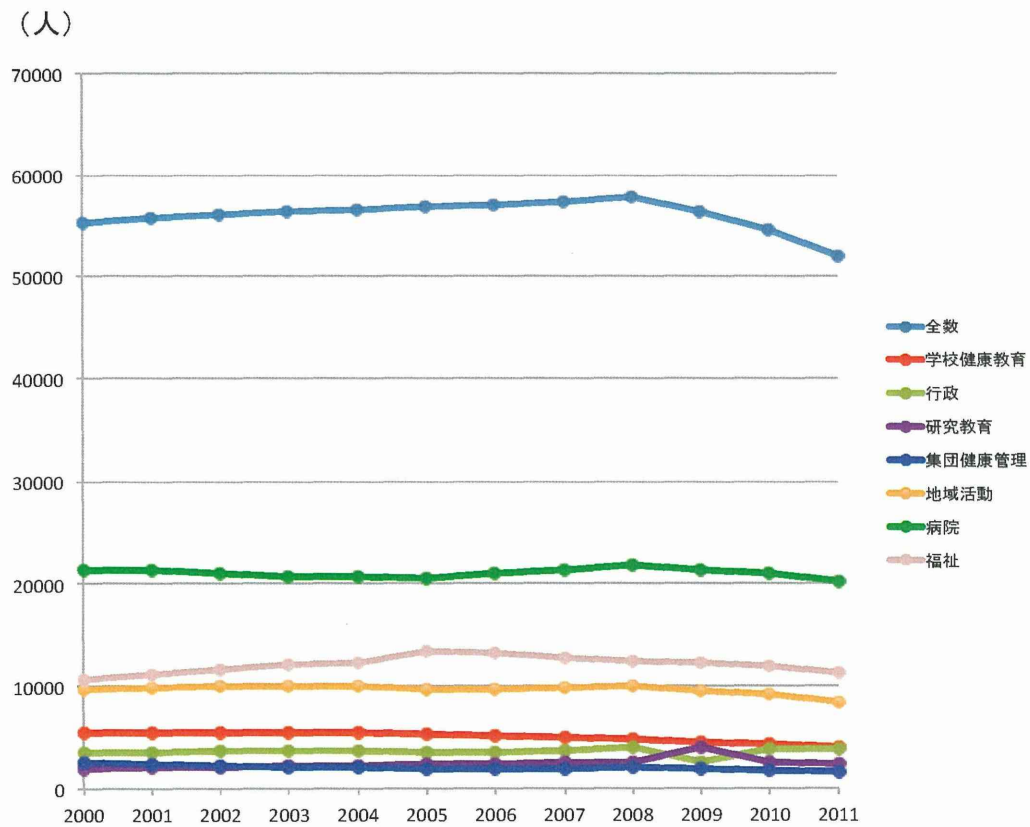


図1. 日本栄養士会職域別会員数  
出典:(公社)日本栄養士会

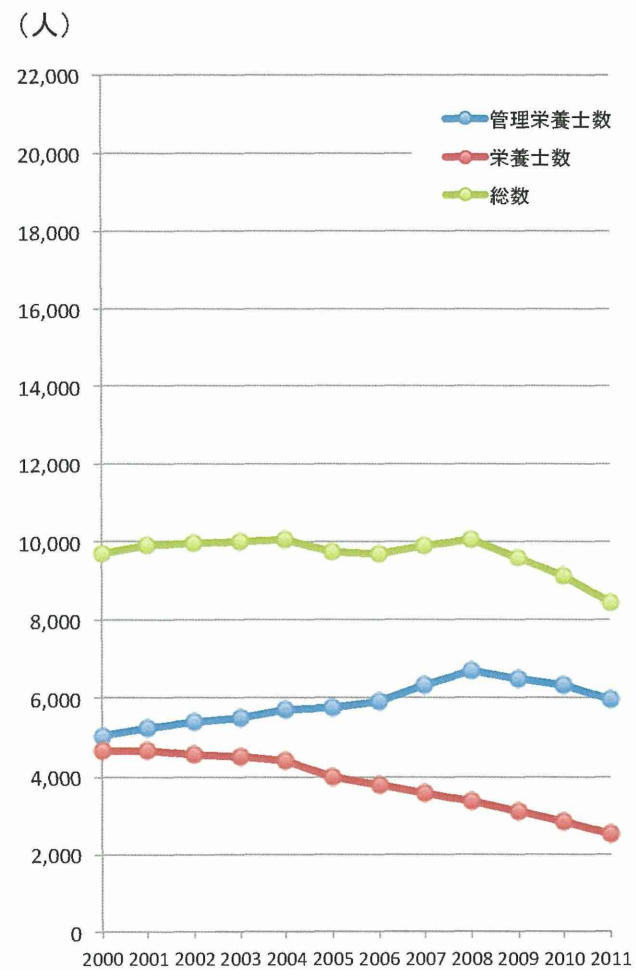


図2. 地域活動分野における会員数の推移  
出典:(公社)日本栄養士会

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）

分担研究報告書

福祉分野管理栄養士の現状把握と課題

研究分担者 広島女学院大学 人間生活学部 管理栄養学科 教授 坂井 堅太郎

研究協力者 広島女学院大学 妻木 陽子

研究要旨

福祉分野における管理栄養士・栄養士活動の課題や人材育成システムの方向性を検討するため、介護保険施設および居宅サービス等の事業所における管理栄養士・栄養士配置の経年変化をまとめた。福祉施設数はこの10年間で著しく増加しているが、1施設当たりの管理栄養士常勤換算従業者数は、介護老人福祉施設と介護老人保健施設を除き変動がなかった。各施設での管理栄養士・栄養士の内訳は、管理栄養士が占める割合が上昇している。今後は、管理栄養士の福祉施設で求められるニーズを把握することで、管理栄養士の資質向上に繋げる人材育成システムの方向性を検討することが必要であると考えられた。

A. 研究目的

福祉分野における管理栄養士・栄養士配置の経年変化をまとめ、管理栄養士・栄養士活動の課題や人材育成システムの方向性を考察する。

以下の項目について、施設・事業所ごとの結果をまとめた。

- ①施設数・事業所数
- ②管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数
- ③施設・事業所の定員100人または施設の病床100床当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数

B. 研究方法

既存資料として、独立行政法人統計センター（総務省統計局）「政府統計の総合窓口」を用い、2010年から過去10年間のデータを抽出した。

[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?\\_toGL08020101\\_&tstatCode=000001029805&requestSender=dsearch](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_&tstatCode=000001029805&requestSender=dsearch)

介護保険施設（介護療養型医療施設、介護老人福祉施設、介護老人保健施設）以外の事業所においては、掲載データが存在しないため、以下の式にて算出を行った。

（算出式）



事業所の定員 100 人当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数

=常勤換算従事者数（総数）／事業所の定員数×100

④管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数の合計を 100%としたときの管理栄養士の割合

（算出式）

管理栄養士の常勤換算従事者数の割合

=管理栄養士の常勤換算従事者数（総数）／（管理栄養士の常勤換算従事者数（総数）+栄養士の常勤換算従事者数（総数））

⑤1 施設・事業所当たりの常勤換算従事者数

（算出式）1 施設・事業所当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数

=管理栄養士の常勤換算従事者数（総数）／施設数・事業所数

## C. 研究結果

### 1) 介護老人福祉施設

2001 年から 10 年間の変動を図 1 に示した。施設数は 2001 年に 4651 施設あったが 2010 年では 5676 施設に増加していた。施設の定員 100 人当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2001 年では 0.8 人で、その後 2006 年から 2010 年までは 1.1 人となっていた。管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数の合計を 100%としたときの管理栄養士の割合は、2001 年では 55.2%であったが 2010 年では 72.1%と上昇していた。1 施設当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2001 年では 0.6

人であったが、2007 年から 2010 年までは 0.8 人となっていた。（図 1）

### 2) 介護老人保健施設

2001 年から 10 年間の変動を図 2 に示した。施設数は 2001 年に 2779 施設あったが 2010 年では 3382 施設に増加していた。施設の定員 100 人当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2001 年では 1.0 人で、その後 2005 年から 2010 年までは 1.1 人となっていた。管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数の合計を 100%としたときの管理栄養士の割合は、2001 年では 64.2%であったが 2010 年では 77.8%と上昇していた。1 施設当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2001 年では 0.8 人であったが、2005 年から 2010 年までは 1.0 人となっていた。（図 2）

### 3) 介護療養型医療施設

2001 年から 10 年間の変動を図 3 に示した。施設数は 2001 年に 3792 施設あったが 2010 年では 1770 施設まで減少していた。施設の病床 100 床当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2001 年では 1.4 人であったが徐々に増加し、2010 年には 1.7 人となっていた。管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数の合計を 100%としたときの管理栄養士の割合は、2001 年では 58.8%であったが 2010 年では 71.3%へと上昇していた。1 施設当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2001 年では 0.5 人であったが、2006 年から 2010 年までは 0.7 人となっていた。（図

3）

#### 4) 居宅サービス 通所介護

2001年から10年間の変動を図4に示した。事業所数は2001年に9138事業所であったが2010年では22738事業所に増加していた。事業所の定員100人当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2001年から2009年までは0.2人で、2010年では0.1人となっていた。管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数の合計を100%としたときの管理栄養士の割合は、2001年から2005年までは37.0%前後で、2006年では46.6%で最高となり、その後減少し、2010年では42.3%となっていた。1事業所当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2001年から2010年までの10年間では0.03人から0.05人の間で変化しており、大きな変動はみられなかった。(図4)

#### 5) 居宅サービス 短期入所生活介護

2001年から10年間の変動を図5に示した。事業所数は2001年に4887事業所であったがその後増加し、2008年に7347事業所で最高となり、2010年では7096事業所であった。事業所の定員100人当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2001年では1.5人で、徐々に増加し、2010年では2.3人となっていた。管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数の合計を100%としたときの管理栄養士の割合は、2001年では52.6%であったが2007年から2010年までは64%前後となっていた。1事業所当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2001年では0.2人であった

が、2006年から2010年までは0.3人となっていた。(図5)

#### 6) 地域密着型介護老人福祉施設

事業所数において2001年から10年間の変動を図6に示した。2001年から2005年までは30事業所前後であったが、その後大幅に増加して、2010年では302事業所であった。また、従事者において4年間の変動をみると、事業所の定員100人当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2007年では1.5人で、その後増加し、2010年では1.8人となっていた。管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数の合計を100%としたときの管理栄養士の割合は、2007年は59.6%でその後若干減少したものの、2010年では59.0%となっていた。1事業所当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2007年から2010年まで変動はみられず、1.0人であった。(図6)

#### 7) 地域密着型認知症対応型通所介護

2006年から5年間の変動を図7に示した。事業所数は2006年に2484事業所であったが、その後増加し2008年に3139事業所で最高となり、2010年では3122事業所であった。事業所の定員100人当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2006年では0.5人であったが徐々に減少し2008年から2010年までは0.3人となっていた。管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数の合計を100%としたときの管理栄養士の割合は、2006年では61.5%であったがその後減少し、2007年から2010年までは58%前後となっていた。1

事業所当たりの管理栄養士の常勤換算従事者数は、2006年では0.04人であったが、2008年から2010年までは0.03人となっていた。(図7)

注)

・介護療養型医療施設は、2006年に、2012年3月(2011年度末)に廃止することが決定した。しかし、2011年に介護保険法の一部を改正する法律が成立し、廃止期限が2018年3月(平成29年度末)に延期となった。

・地域密着型介護老人福祉施設は、介護老人福祉施設のうち入居定員が29名以下のもので、2006年に介護老人福祉施設(別名：特別養護老人ホーム)から地域密着型介護老人福祉施設として独立した。2007年から2010年までの単独のデータと、2001年から2005年までは、介護老人福祉施設の該当部分のデータを抽出して解析を行った。しかしながら、2006年の全てのデータと、2001年から2005年までの5年間は、従事者数に関するデータが存在しなかったために、詳しく把握ができなかった。

・地域密着型認知症対応型通所介護は、2006年4月の介護保険制度の改正により、地域密着型サービスの一つと位置づけられた。

#### D. データの整理における気づき

①全てのデータにおいて調査方法の変更等による影響を受けているため、実数の年次比較が正確にできない。

②福祉分野の対象者は幅広いため、将来の人口推計が困難であり管理栄養士・栄養士の需要の把握が難しい。

③管理栄養士・栄養士の免許を持ちながら「調理員」として従事している場合が考えられ、実際の実務状況を知ることはできない。

#### E. 結論

福祉分野における管理栄養士・栄養士配置の経年変化をまとめると、介護老人福祉施設と介護老人保健施設は施設数の増加と共に、1施設当たりの管理栄養士常勤換算従業者数も増加傾向にあった。また、管理栄養士と栄養士の内訳も、管理栄養士が占める割合が上昇していた。一方、その他の福祉施設では、施設数の増加はみられても1施設当たりの管理栄養士常勤換算従業者数には変動がなかった。しかし、本調査は、あくまで数の把握にすぎない。今後は、福祉分野における管理栄養士に求められる潜在的ニーズを明らかにすることで、ニーズに合わせたより効果的な人材育成や教育が行われ、管理栄養士の資質向上に繋がると考えられる。

#### F. 研究発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

なし

図1:介護老人施設

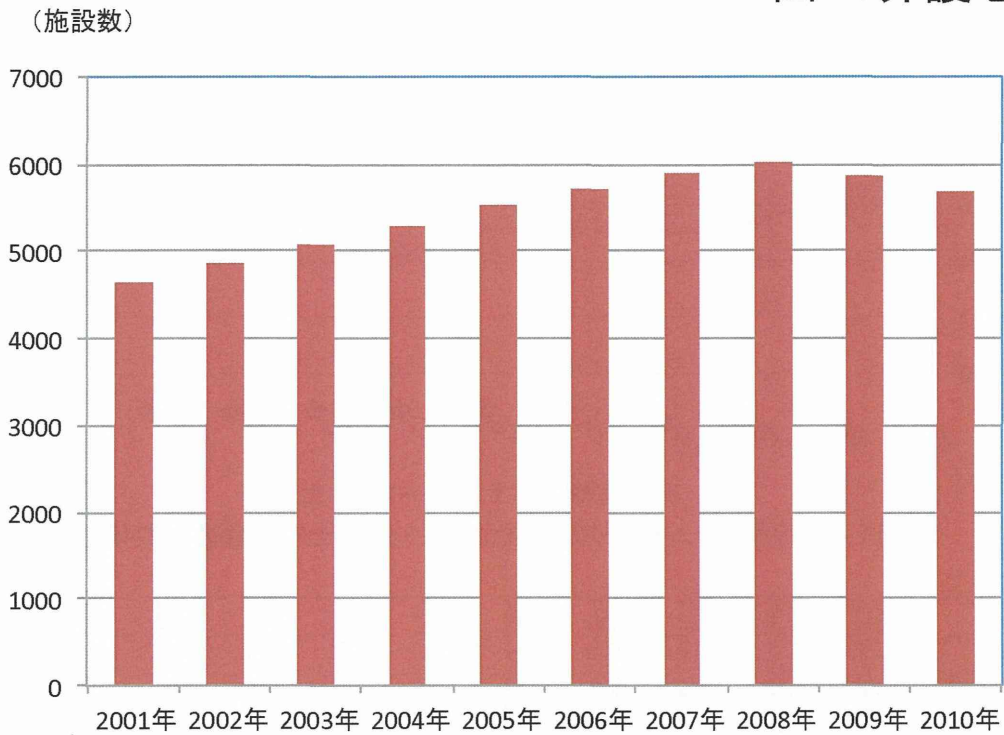


図1-1. 施設数

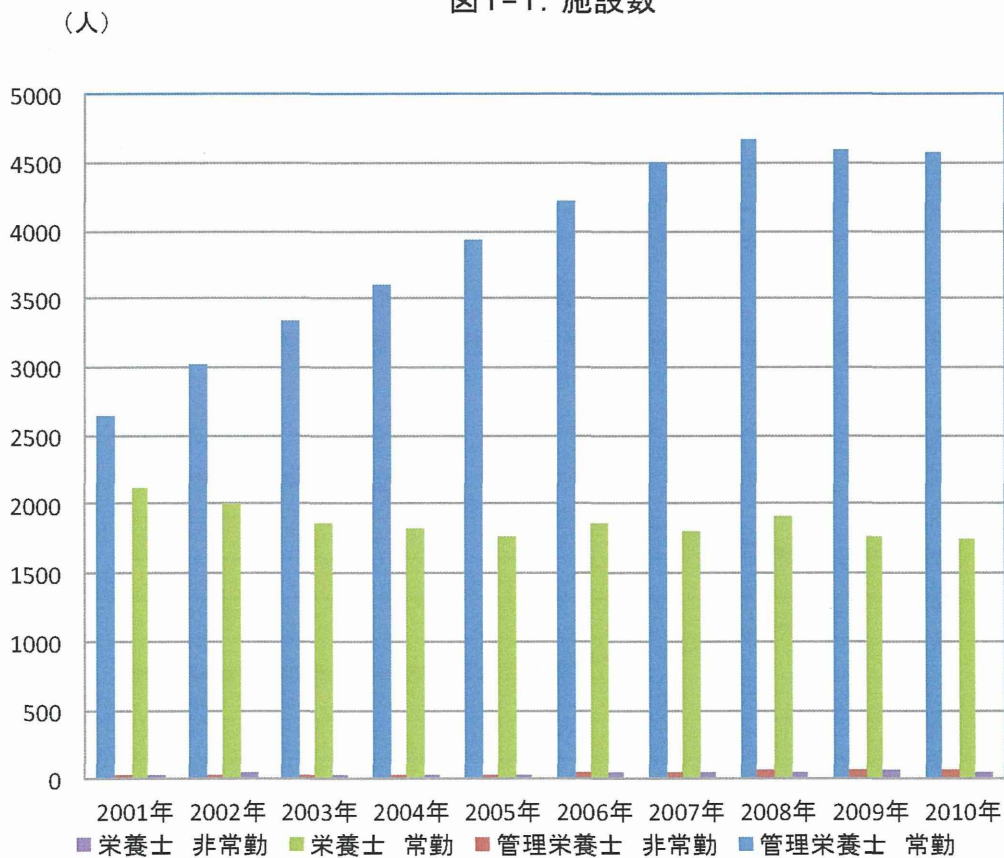


図1-2. 管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数

図1:介護老人施設

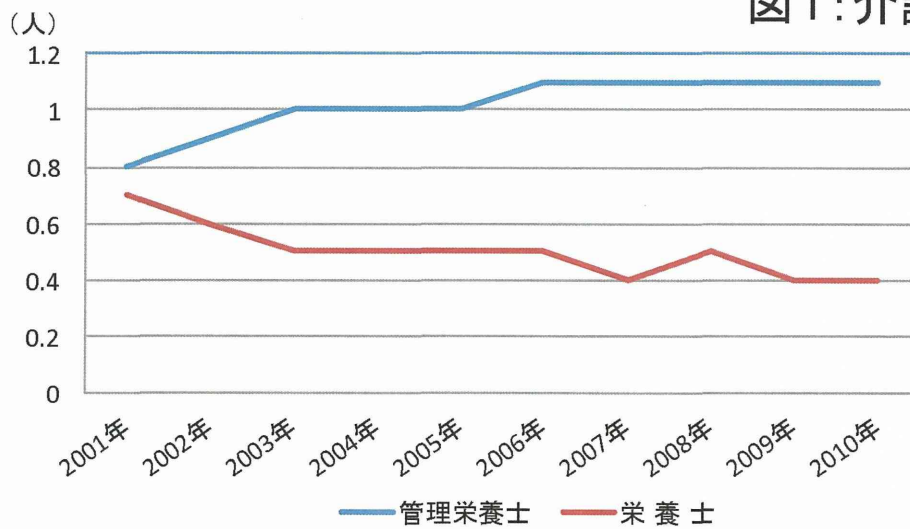


図1-3. 定員100人当たりの管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数

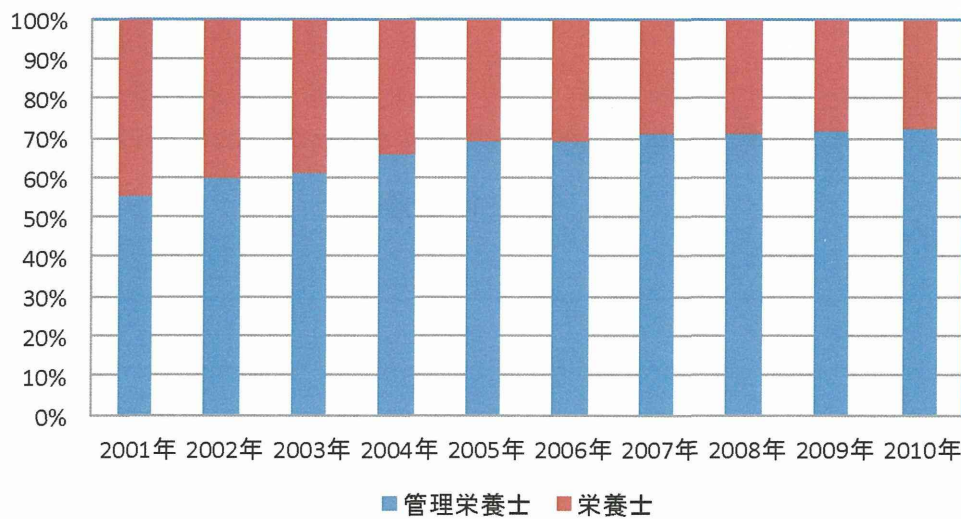


図1-4. 全栄養士の常勤換算従事者数における管理栄養士・栄養士の割合

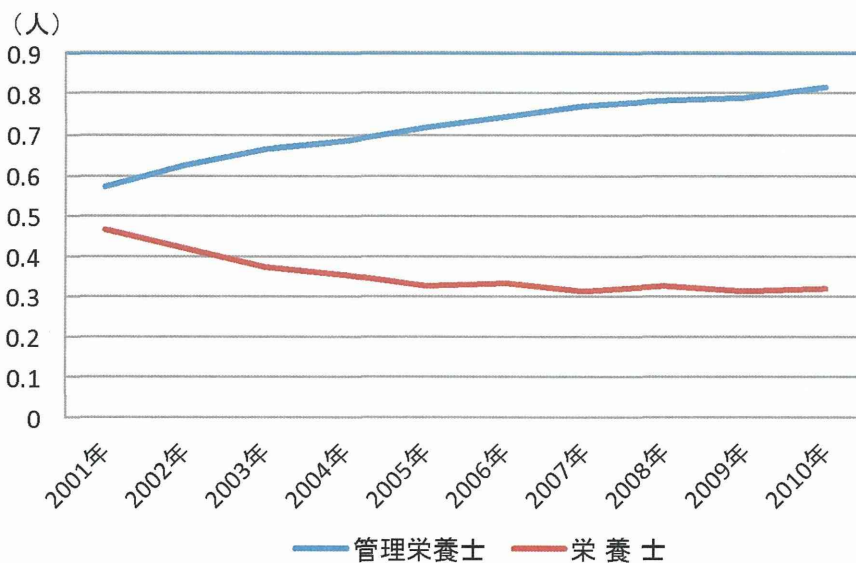


図1-5. 1施設当たりの管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数

図2:介護老人保健施設

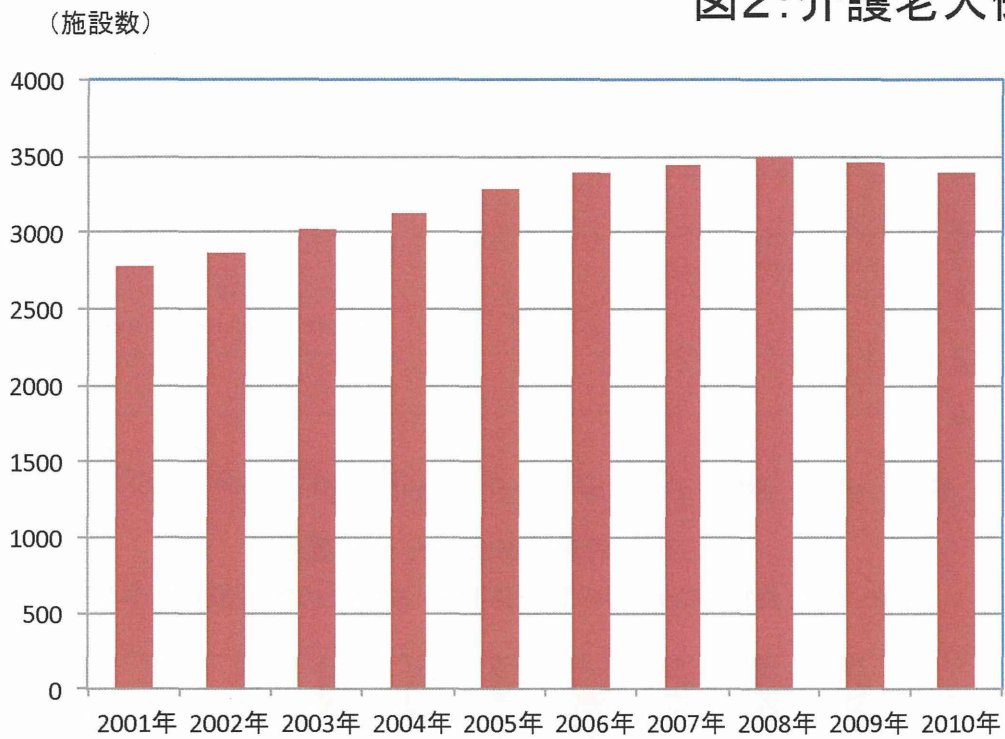


図2-1. 施設数

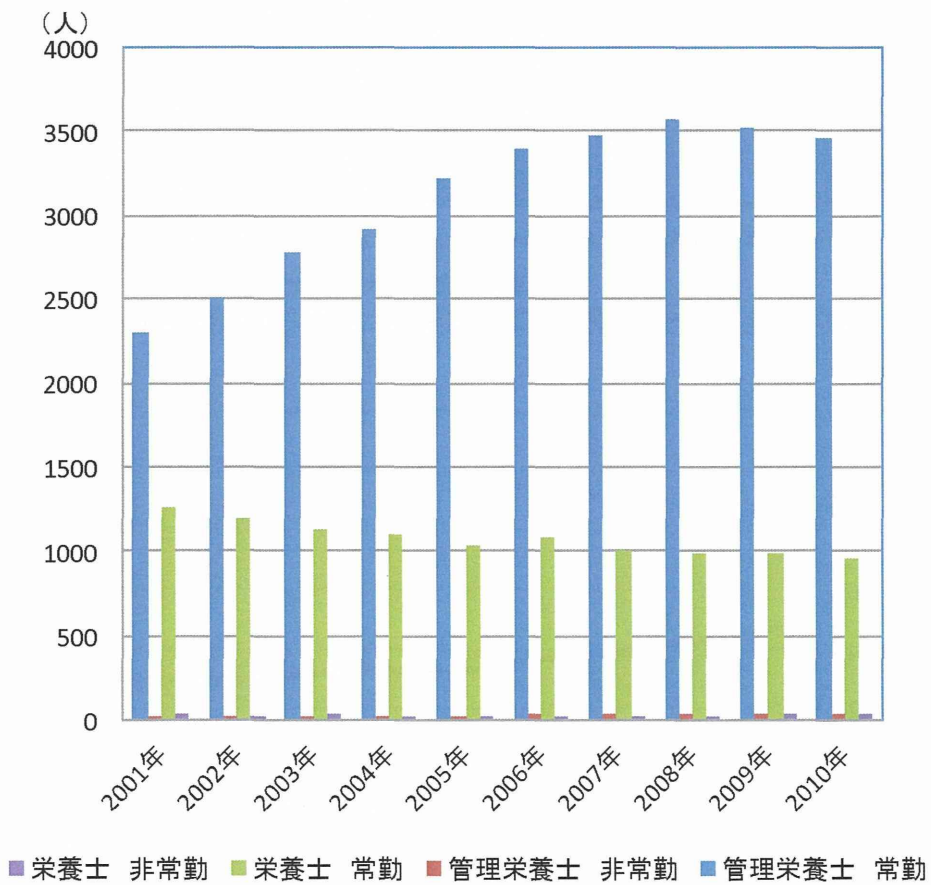


図2-2. 管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数

図2: 介護老人保健施設

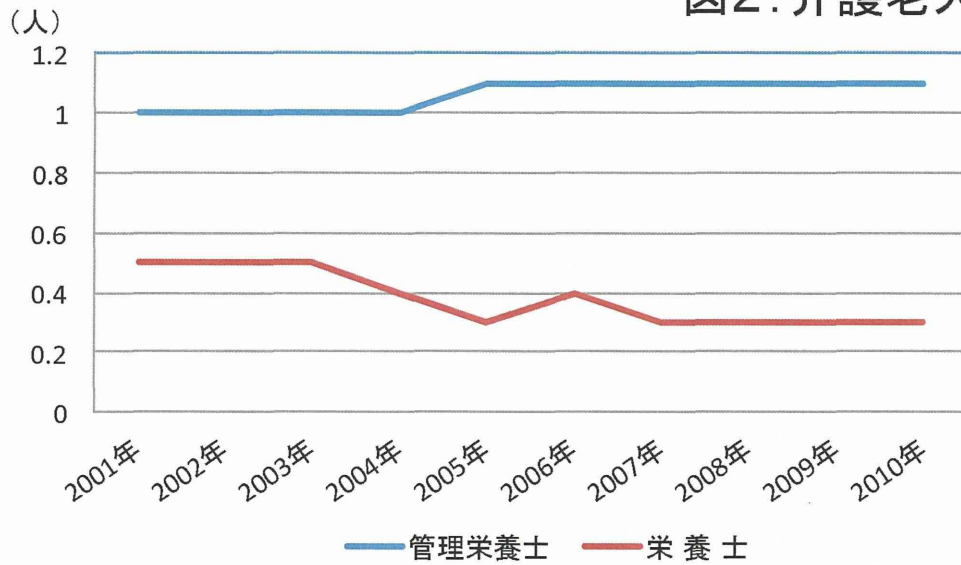


図2-3. 定員100人当たりの管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数

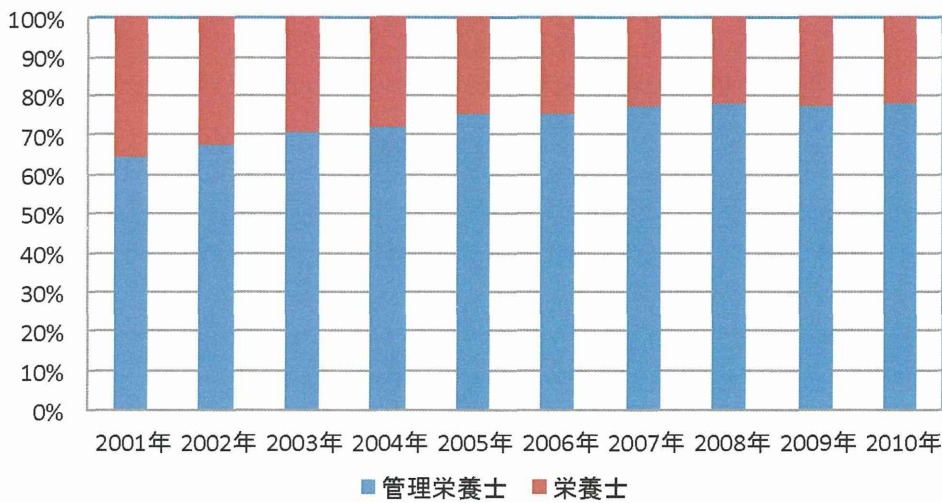


図2-4. 全栄養士の常勤換算従事者数における管理栄養士・栄養士の割合

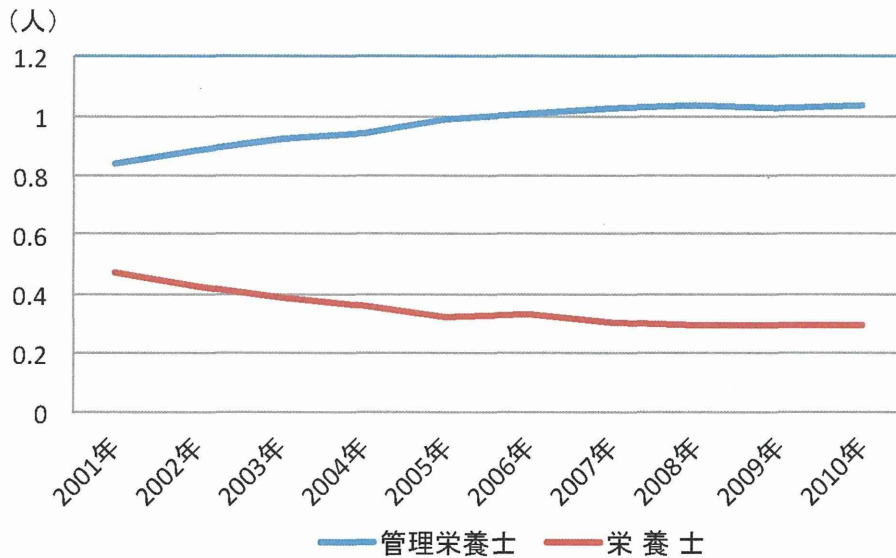


図2-5. 1施設当たりの管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数

### 図3: 介護療養型医療施設

(施設数)

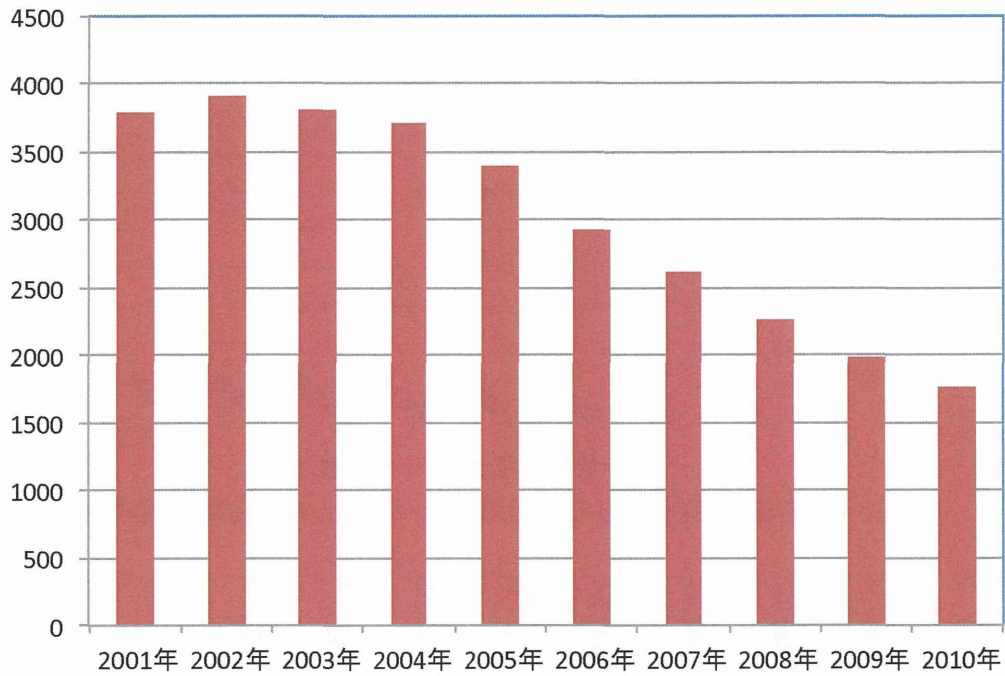


図3-1. 施設数

(人)

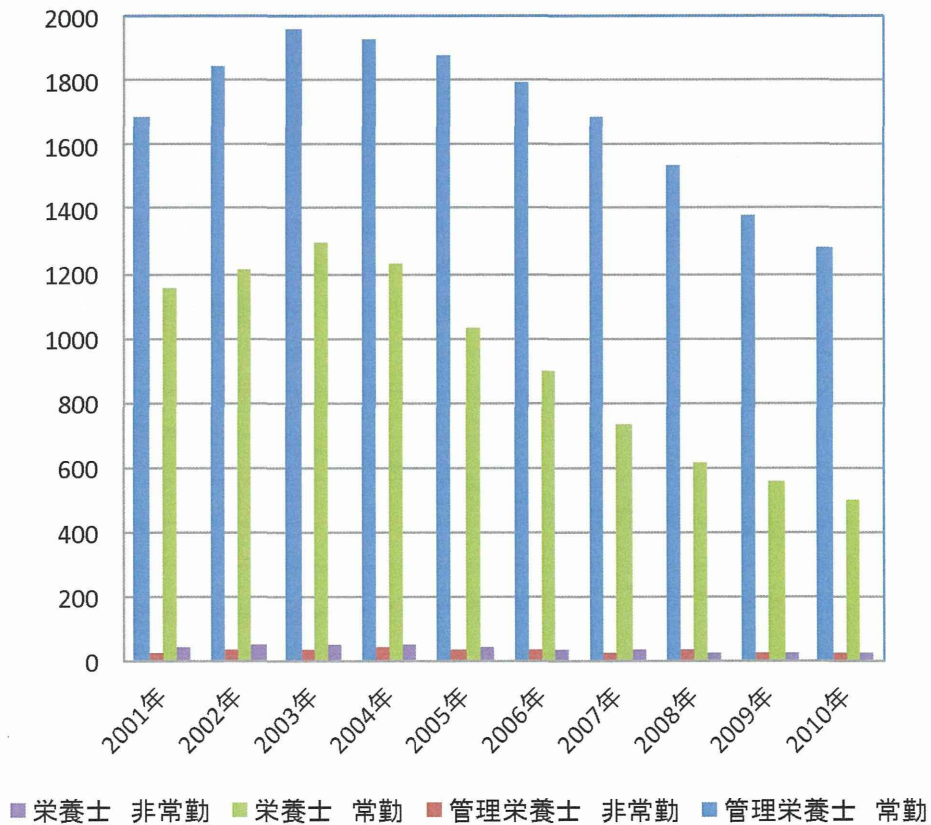


図3-2. 管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数



図3:介護療養型医療施設

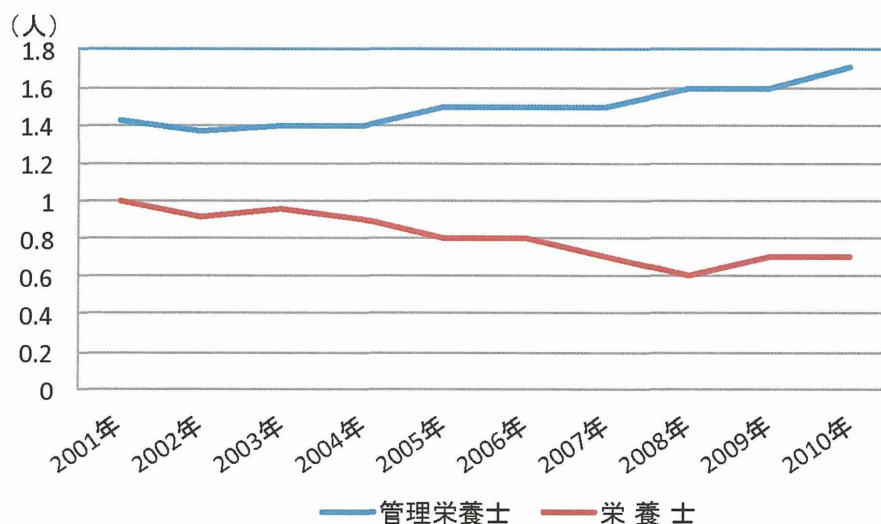


図3-3. 病床100床当たりの管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数

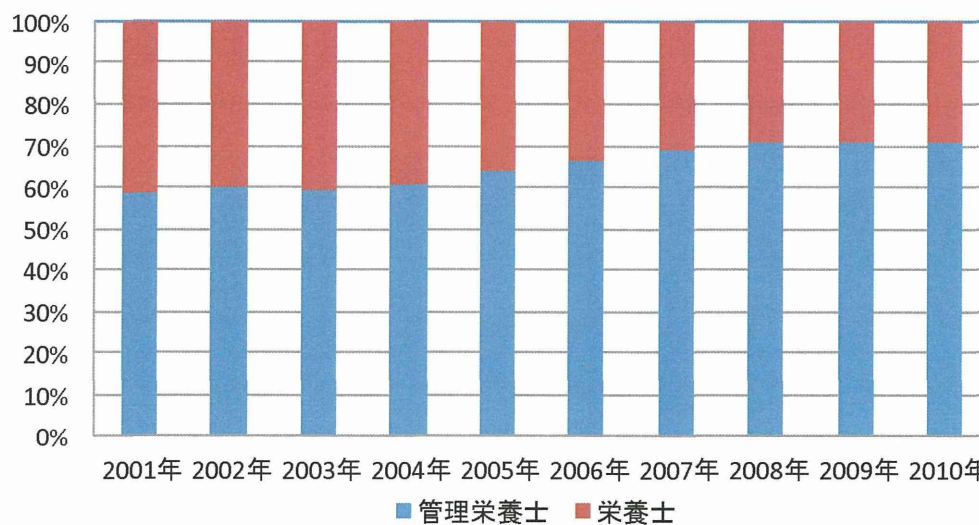


図3-4. 全栄養士の常勤換算従事者数における管理栄養士・栄養士の割合

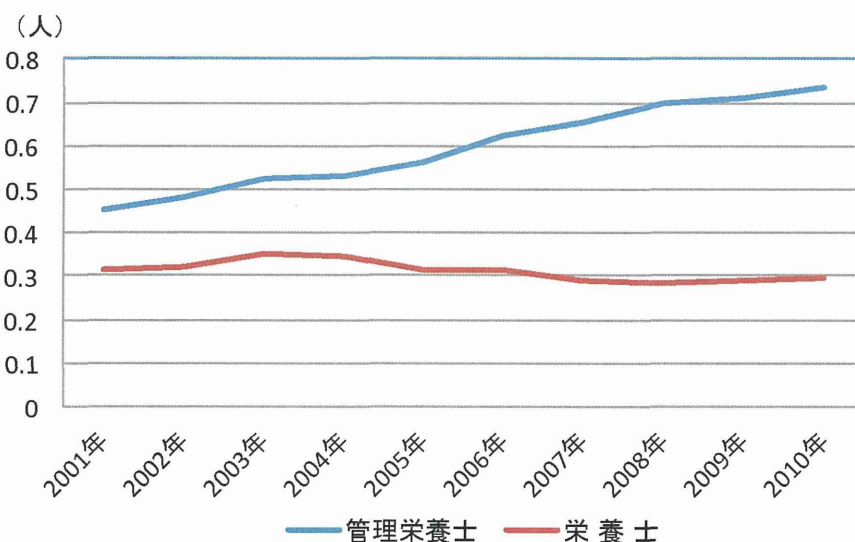


図3-5. 1施設当たりの管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数

図4: 居宅サービス・通所介護

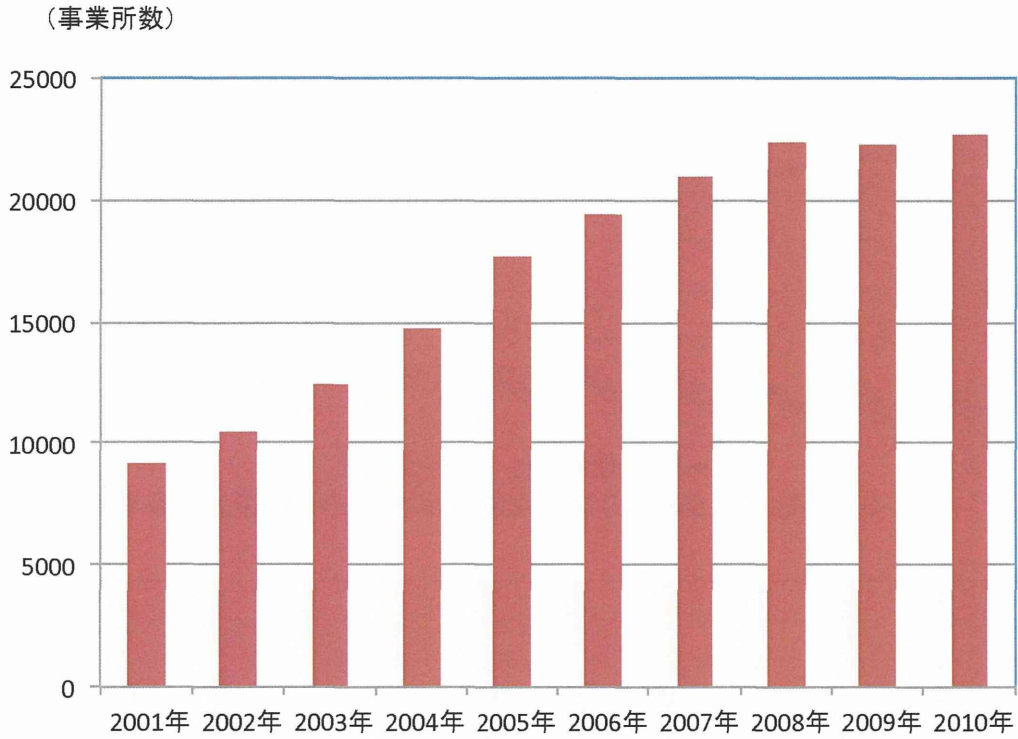


図4-1. 事業所数

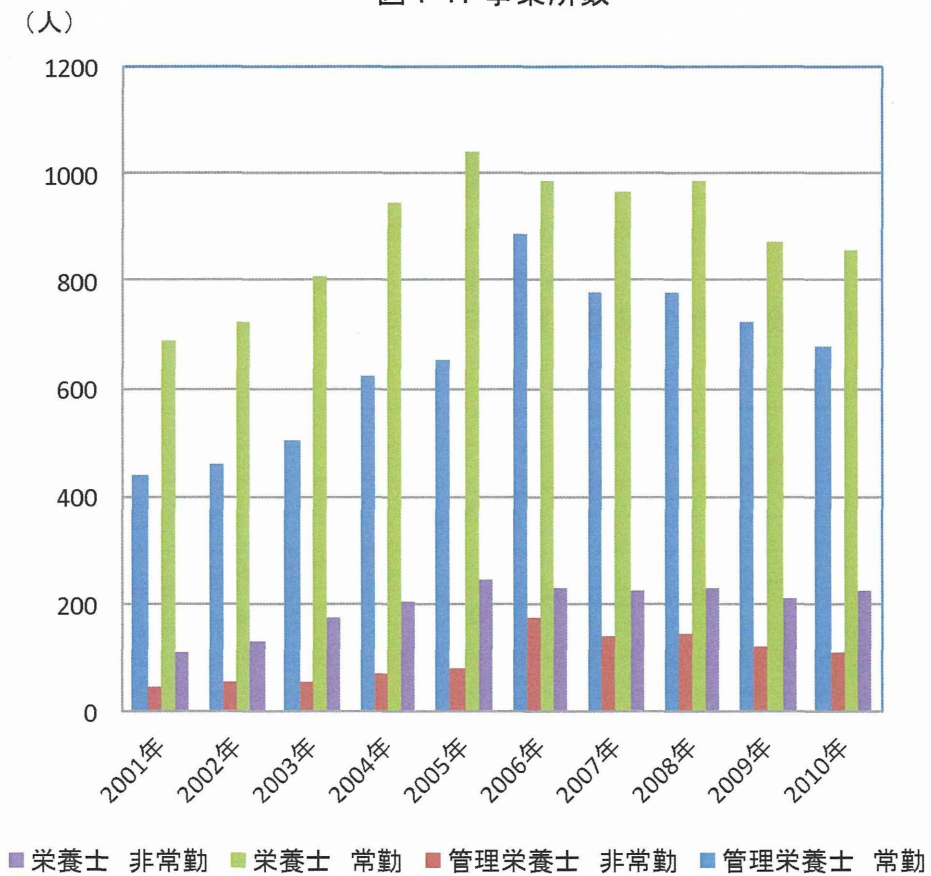


図4-2. 管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数

図4: 居宅サービス・通所介護

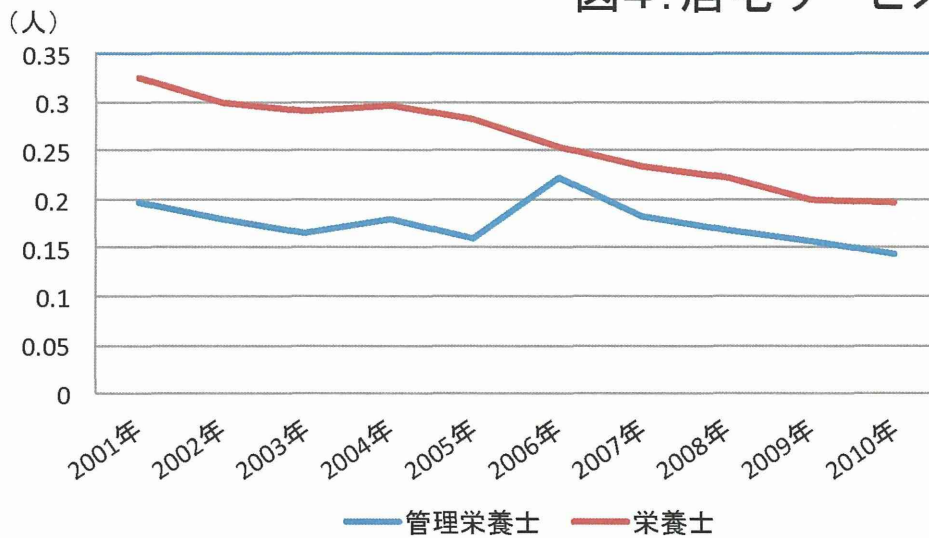


図4-3. 定員100人当たりの管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数

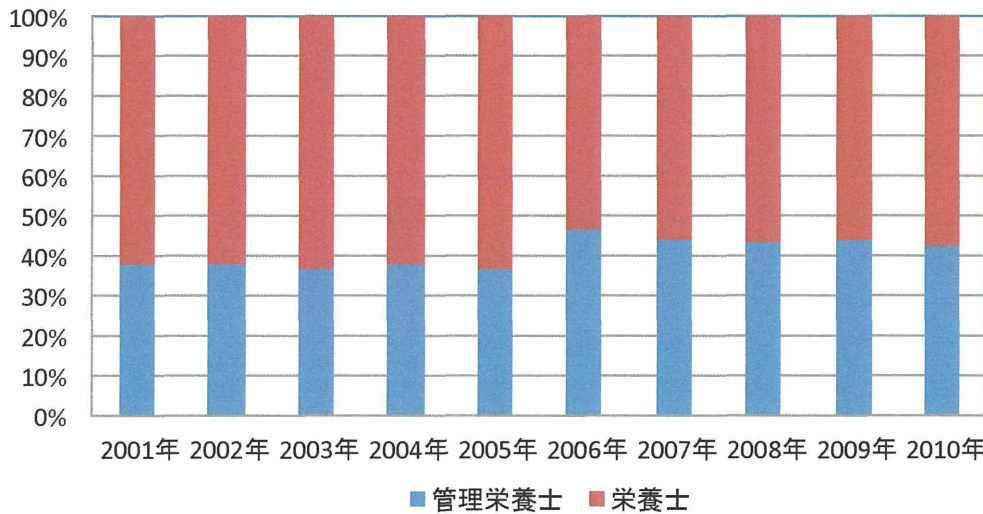


図4-4. 全栄養士の常勤換算従事者数における管理栄養士・栄養士の割合

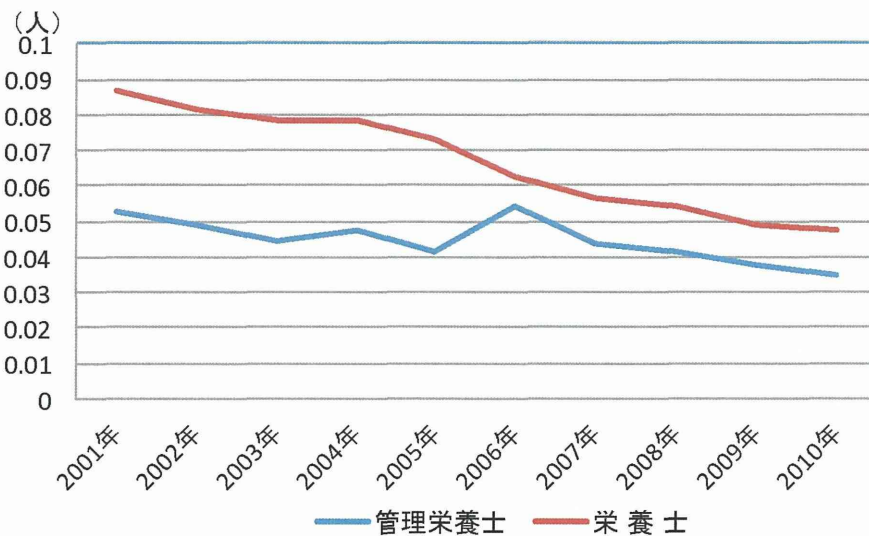


図4-5. 1事業所当たりの管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数

## 図5: 居住サービス・短期入所生活介護

(事業所数)

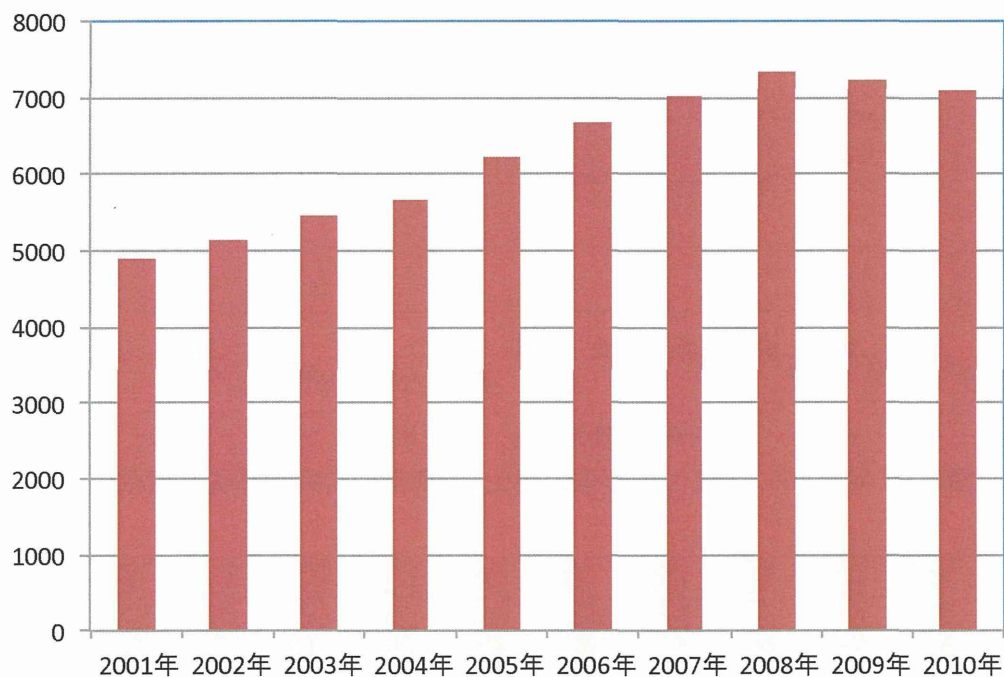


図5-1. 事業所数

(人)

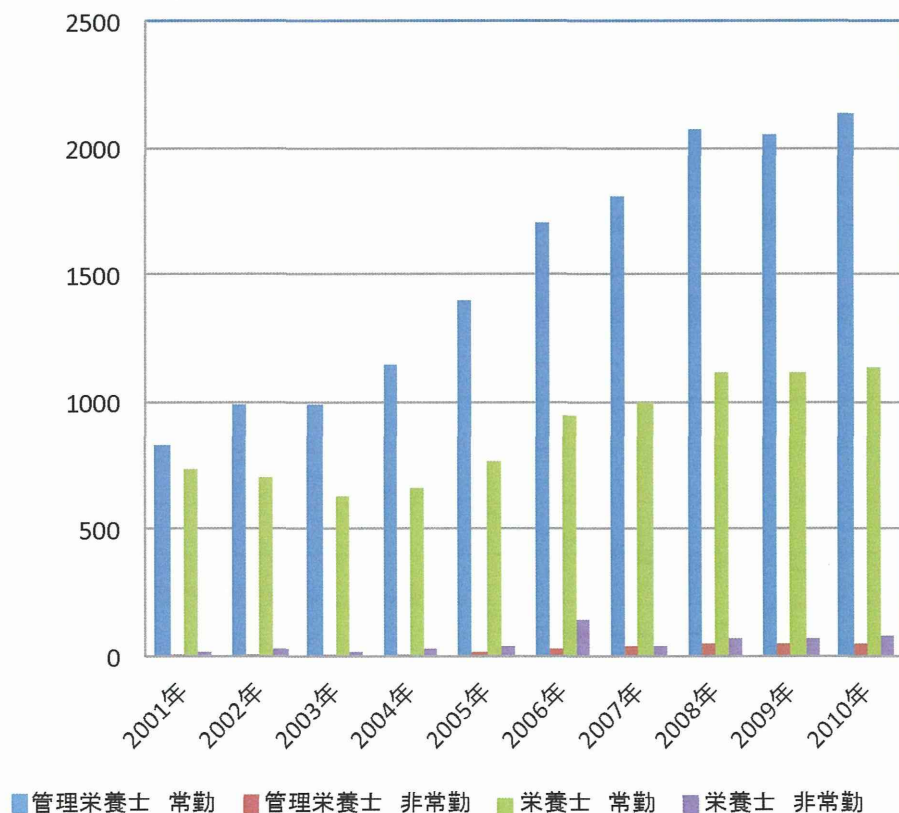


図5-2. 管理栄養士・栄養士の常勤換算従事者数